令和７年度　社会福祉法人　豊寿会

事　業　報　告　書

社会福祉法人 豊寿会

目　　次

1　基本方針の状況
（１）　経営安定への取り組みと組織機能強化・・・・・・・・・・・・　1
（２）　ＤＸ化に向けた効果的なＩＣＴの導入と業務の効率化促進　・　2
（３）　法人広報活動の推進と認知症取得に向けた取り組み　・・・・　3
（４）　働き方改革の一層の推進と労働環境の整備　・・・・・・・・　3
（５）　地域セーフティネットの役割検討　・・・・・・・・・・・・・　3
（６）　第４期中期経営計画の推進について　・・・・・・・・・・・・　3
（７）　リスクマネジメントにおける経営者・管理者の役割　・・・・・・　4

2　基本方針における具体的な重点推進事項の実施状況　・・・　5

3　年間スケジュールの実施状況
（１）　理事会の開催　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　7
（２）　評議員会の開催　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　8
（３）　評議員選任・解任委員会の開催　・・・・・・・・・・・・・・　１０
（４）　法人本部の会議関係　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１０
（５）　監査の実施　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１２
（６）　研修関係　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１２
（７）　委員会関係　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１２
（８）　その他法人業務・行事関係　・・・・・・・・・・・・・・・・　１３

4　経営組織及び会議系統図　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１４

1　基本方針の状況

(1) 経営安定への取り組みと組織機能強化

上半期においては、法人全体のガバナンス強化及び経営安定化を目的として管理職会議を試行的に開催し、施設間の利用率のみならず経営状況についても、相互に確認できる体制とした。これにより、法人の戦略や目標、課題についての共有が進み、組織全体としての連携強化につながった。 管理職会議は令和８年度より正式な会議として位置づけ、更なる内容の充実と機能強化を図りたい。

昨年６月に、最上ふれあい学園において、虐待事案が発生し、法人経営に対する信頼を著しく損なう重大な事案となった。大きなトラブルには至らなかったものの、本事案を重く受け止め、再発防止に向けた支援体制や管理体制の見直し、職員教育の強化を進めていく必要がある。

また、これを機会に虐待事案が起きた場合の法人としての取り扱いについて今回の事案の総括を行ない顧問弁護士の検討など未然防止に万全を期す必要がある。

役員･評議員等の改選や欠員補充についても滞りなく選任及び補充することができた。法人の規程等については、法改正や働き方改革、時代に即した見直しを図った。今後も、管理職会議を中心とした組織横断的な連携を深めるとともに、社会情勢や制度改正に適切に対応しながら、より安定的かつ持続可能な法人経営に取り組んでいきたい。

なお、経営に大きなダメージを受けた昨年度６月に発生した虐待事案については、法人としても深く反省し、２度と繰り返さないように職員に徹底した。コンプライアンスや高い倫理と観に基づく支援の実践を指導しなければならない。

令和７年度の事業活動計算書における法人全体の決算状況は、利用者数の減少や物価上昇等の影響を受け、厳しい経営環境を反映した結果となった。限られた財源の中で安定した福祉サービスの提供に努めたが、収益面では厳しい状況が見られた。法人全体 の決算状況は下記のとおりである。

記

（単位：千円）△；減少

区分	科目	当年度	対前年度比
(1)サービス活動増減の部	サービス活動収益	1, 092, 465	19, 390
	サービス活動費用	1, 091,953	35,870
	サービス活動増減差額	511	△16,480
(2)サービス活動外増減の部	サービス活動外収益	7,007	408
	サービス活動外費用	11,167	503
	サービス活動外増減差額	△4,159	△94
	経常増減差額	△3,648	△16,575
(3)特別増減の部	特別収益	21,606	1,257

	特別費用	21,757	6,343
	特別増減差額	△150	△5,085
(4) 当期活動増減差額の部	当期活動増減差額	△3,948	△11,849
	前期繰越活動増減差額	793, 267	△24,883
	当期末繰越活動増減差額	789, 318	△46, 494
(5) 人件費率		68.53％	2.43％

各施設においてはサービス活動収益の減少が見られ、法人全体として経営改善への取り組みが早急に求められる。今後は利用率向上や地域ニーズに応じたサービスの充実を図るとともに、役職員が協力して経営管理の徹底と効率的な事業経営を進め、安定した経営基盤の確立に取り組まなければならない。

(2) DX 化に向けた効果的な ICT 導入と業務効率化の推進

法人本部業務における DX 化については、目指すべき業務体制や組織運営の方向性が十分に整理･構想化されておらず、全体的な推進には至らなかった。

一方で、各施設においては、施設規模や建物環境、利用者特性などそれぞれの実情を踏まえながら、タブレット活用や記録の電子化、見守り機器の試験導入など段階的な取り組みを進めている。

DX 化の推進にあたっては、単なる機器導入にとどまらず、業務効率化や職員負担軽減や職員数減を視野に入れ生産性向上につなげていく視点が重要である。そのため、補助金活用や自己財源を含めた中長期的な資金計画の検討に加え、導入後の運用体制や職員配置、業務分担の見直しも含めた総合的な検討が求められる。

(3) 法人広報活動の推進と認証取得に向けた取り組み

法人プロモーションビデオを完成させ、地域住民や関係機関に向けた広報活動を展開した。閲覧数自体は大きな伸びには至らなかったものの、文章だけでは伝わりにくい法人の雰囲気や支援内容、職員の姿勢などを視覚的に発信することで、法人理解の促進につながった。また、動画を活用した情報発信は、時代に即した広報手法として一定の効果があり、法人の認知度向上やブランドイメージの形成にもつながっている。

今後は、ホームページや SNS 等の活用も含め、継続的かつ効果的な情報発信の在り方について検討を進め、地域や求職者に対して法人の魅力をより分かりやすく伝えていく必要がある。

また、「くるみん」認定については、令和 8 年度の取得を目指して職場環境整備や制度確認を進めており、その後は「えるぼし」認定取得に向けた取り組みにも着手する予定である。これらの認証取得を通じて、働きやすい職場環境づくりを推進するとともに、人材確保や法人イメージの向上につなげたい。

(4)働き方改革の一層の推進と労働環境の整備

職員が安心して長く働き続けられる職場づくりを目指し、労働条件や労働環境の改善に向けた検討を進めた。勤務体制や休暇取得のあり方、職員間の業務負担の偏りなどについて見直しを行い、働きやすさに配慮した環境整備に取り組んでいる。あわせて、子育て支援や女性活躍推進に関する認定取得に向けた準備を進めるとともに、「ユースエール」認定を活かし、若手職員の採用・育成や定着につながる職場環境づくりを進めた。

各種認定取得に向けた取り組みについては、事務局を中心に制度要件の確認や職場環境の整備を計画的に進めており、一定の成果が見られている。今後は、認定取得を目的とするだけでなく、制度を活用した職場改善や職員満足度の向上につなげていくことが重要である。また、認定制度を積極的にPRすることで、法人の魅力発信や人材確保の強化につなげ、安定した人材確保と働きやすい職場環境の両立を目指していきたい。

(5)地域セーフティネット役割検討

少子高齢化や地域のつながりの希薄化が進む中、既存制度だけでは対応が難しい生活課題や孤立の問題が増えており、社会福祉法人に求められる地域セーフティネットとしての役割は、今後さらに重要になると認識している。

一方で、地域課題に対する具体的な支援の在り方や法人として担うべき役割については整理段階にあり、現時点では具体的な事業展開には至っていない。

地域の福祉ニーズについては、町の総合計画や保健福祉計画等を参考に情報収集を行うとともに、地域の人口動向や福祉課題の把握に努めている。また、他法人の実践事例や新聞・専門誌等も参考にしながら、地域交流活動や生活支援、地域住民とのつながりづくりなど、当法人として取り組める地域貢献活動について検討を進めている。

障害福祉分野においては、地域生活支援へのニーズの高まりを踏まえ、障害者グループホームの必要性について検討を進めており、新規事業化に向けた調査や情報収集を開始した。今後は、地域の実情や利用者ニーズを踏まえながら、地域福祉を支える法人としてどのような役割を果たしていくべきか、継続的に検討を深めていく必要がある。

(6)第4期経営計画の推進について

「未来志向の事業推進」をスローガンに掲げ、各部門においてアクションプランの推進に取り組んだ。制度改正や社会情勢の変化、利用者ニーズの多様化を踏まえながら、支援体制の見直しや人材育成、DX推進、地域連携の強化など、それぞれの課題に応じた取り組みを段階的に進めている。

進捗状況としては、「実施済11.8%・実施中70.6%・検討中17.6%」となっており、多くの項

目について継続的に取り組みを進めている段階にあり、項目毎では、「経営力の向上とガバナンス強化」および「人材育成と確保」に関するアクションプランについては、比較的順調に進捗している一方で、「サービスの質の向上」や「地域貢献」に関する項目については、具体的な取り組みや体制整備が十分に進まず、進捗が低迷している状況である。背景には、重度化対応や人材不足、制度対応など日常業務対応が優先されている現状もあり、今後は中長期的な視点を持ちながら、重点的に取り組みを進めていく必要がある。

(7) リスクマネジメントにおける経営者・管理者の役割

事故やヒヤリハット事例については、組織全体で情報共有を行い、原因分析と再発防止策の検討を継続して実施した。また、職員が安心してリスク情報を報告できる環境づくりを進め、風通しの良い組織づくりと健全なコミュニケーションの定着に努めた。

今後は、危機管理体制をさらに強化するため、令和８年度に法人危機管理会議の設置を予定しており、組織全体でリスク管理と再発防止に取り組んでいきたい。

◆次年度への課題

1. 管理職会議の正式運用による、ガバナンスと組織横断的連携の強化
2. 制度改正や社会情勢の変化に対応できる持続可能な法人経営体制の構築
3. 法人全体としてのDX推進方針を明確化し計画的なICT導入と業務効率化
4. ICT活用を担う人材育成と、導入後の運用体制整備の強化
5. 広報戦略強化とSNS等を活用した継続的な情報発信
6. 「くるみん」「えるぼし」等の認証取得を通じ、働きやすい職場環境と人材確保を推進
7. 働き方改革を進め、職員の定着率向上と働きやすい労働環境整備を図る
8. 地域課題や福祉ニーズを踏まえた地域貢献活動の具体化
9. 新規事業、障害者グループホームの設置準備委員会の設置と開設準備
10. 第４期経営計画の進捗管理を強化
11. 虐待防止・人権擁護・コンプライアンス意識の定着と組織風土の改善
12. 虐待防止研修等への積極的派遣
13. 顧問弁護士の検討
14. 法人危機管理会議を設置し、リスクマネジメント体制と再発防止機能の強化
15. 各施設の収益増の実現と生産性の向上

2　基本方針における具体的な重点推進事項の実施状況

（※ 赤色は未実施）

項　目	推進内容（第４期経営計画アクションプランと連動）
1. 経営安定への取り組みと組織機能強化	① 各施設等、事業活動収支計算書の収支差額の黒字計上【実施中】
	② 各施設・事業所の利用率向上対策の徹底と目標達成力の強化【毎月、経営戦略会議・事業執行部会議】
	③ 法人の人事業務の組織化（採用・配置・異動・評価・育成・制度・労務管理・社会保険・福利厚生）
	④ 役員・評議員等の改選【6月】
	⑤ 法人全体の財務内容の把握と健全化推進【毎月、　〃　】
	⑥ 各施設における職員定数管理（人件費）の徹底【毎月、　〃　】
	⑦ 報酬、補助金の適正な取り扱いの徹底【実施中】
	⑧ 物価高騰化対策とコスト管理体制の徹底【実施中】
	⑨ 将来の設備投資を見据えた計画的な積立金の計上【実施】
2. DX 化に向けた効果的な ICT の導入と業務の効率化促進	① 本部業務の標準化及び業務の効率化【実施中】
	② 本部業務の効率化のためのDX化検討【検討中】
	③ 施設のDX導入による業務の効率化及び生産性向上【実施中】
	④ 紅梅荘ICT化推進（眠りスキャン等の整備）
	⑤ 最上ふれあい学園のICT化構想検討【調査研究、構想策定中】
	⑥ 国及び県のICT化事業促進における補助金の有効活用【紅梅荘で1件検討】
3. 地域から信頼を得るための情報発信	① 利用者・人材確保へつながる積極的な情報発信【実施中】
	② 各種認証マークやプロモーションビデオの有効活用【実施中】
	③ 効果的な広報戦略検討【随時、事務局会議】
	④ 法人ホームページやSNSを活用した情報発信【実施中】
4. 働き方改革の一層の推進と労働環境の整備	① 働き方改革の推進【実施中】と法人のブランド化（ユースエールの認証【4月】くるみん・えるぼし【実施中】）
	② 魅力ある法人、施設づくりと多様な人材確保の検討【検討中】
	③ 世代交代を見据えた人材教育・育成を進める。【実施中】
	④ 法人キャリアアップの周知と系統的な研修体系の確立【実施中】
	⑤ 職員の定着管理及び労働環境・待遇改善の実施【実施中】
	⑥ 人事管理規程等の一部変更と適正な運用【4月】
	⑦ 職員不足時の業務のあり方【各施設で検討中】
	⑧ 各施設間の連携の構築と実践（職員派遣協力体制等）【8月】
5. 地域セーフティネットの役割検討	① 地域公益活動の仕組みの構築
	② 地域の高齢者や障害者（児）と、その家族の相談窓口の検討
	③ 最上町福祉ニーズの把握（高齢・障害者（児））関連会議への参加【実施中】
	④ 顧客満足度調査の実施
	⑤ 関係機関との連携強化と情報共有化促進【実施中】

6. 第 4 期経営計画の確実な推進	① 第4期経営計画の確実な推進(2025-2027年)【推進中】
	② 持続可能な法人に向けたビジョン検討(ビジョン2040)【検討中】
	③ 実行計画の具体的推進内容の立案【4月】
	④ 第3期経営計画の達成事項と継続事項の確認【6月】
	⑤ 第4期経営計画の各施設への周知徹底【4月】
7. リスクマネジメントにおける経営者・管理者の役割	① 組織的な危機管理対策の構築(事故怪我、感染症、苦情対策【実施中】・BCP訓練の実施)
	② 法人危機管理マネージャーの育成と人材の活用【推進中】
	③ 施設間の情報共有による、事故等の未然防止対策強化【実施中】
	④ DX化による、離設対策・不審者、防犯対策の強化【実施中】
	⑤ 夜間の危機管理の徹底【実施中】
	⑥ ヒヤリハット活用と未然防止対策の確実な実施【各施設で実施中】
	⑦ 労災、メンタルヘルス、パワハラ等の労務管理の徹底【各施設で実施中】
	⑧ リスクマネジメントの組織づくり・風土の改善【各施設で実施中】

3　年間スケジュールの実施状況

(1)　理事会の開催　　13回

回	月日(曜日)	主な審議(予定)内容及び審議結果
1	5月16日(金)	1. 評議員選任･解任委員の事務局員の選任(案)を決議 2. 次期評議員選任･解任委員の選任(案)を決議 3. 第1回 評議員選任･解任委員会の招集(案)を決議
2	6月 5日(木)	1. 令和6年度本部、各施設･事業所の事業報告を承認 2. 令和6年度本部、各施設･事業所の資金収支決算報告を承認 3. 任期満了による次期理事･監事の選任候補者(案)を決議 4. 任期満了による次期評議員の選任候補者推薦(案)を決議 5. 任期満了による次期評議員の選任候補者推薦(案)を決議 6. 第1回評議員会(令和7年度定時評議員会)の招集(案)を決議
3	6月20日(金) (書面決議)	1. 理事長及び副理事長の選定を決議 2. 指名委員の選任(案)を決議 3. 第2回評議員会の招集(案)を決議
4	8月8日(金) (臨時理事会)	1. 最上ふれあい学園に係る障害者虐待認定の顛末等の報告承認 2. 最上ふれあい学園の障害者虐待に係る懲戒処分審査会の報告を承認 3. 最上ふれあい学園の障害者虐待に係る職員の懲戒処分
5	8月20日(水)	1. 職員給与規程の一部変更(案)を決議 2. 嘱託職員就業規則の一部変更(案)を決議 3. 臨時職員就業規則の一部変更(案)を決議 4. 最上ふれあい学園に係る施設寄付金の受入を決議 5. 最上ふれあい学園「なかやまの家」の売却処分を決議
6	9月 3日(水) (書面決議)	1. 第3回評議員会の招集(案)を決議
7	9月26日(金)	1. 基本財産の(一部)売買契約(案)の締結を決議 2. 定款の一部変更(案)を決議 3. 育児･介護休業等に関する規則の一部変更(案)を決議 4. 第4回評議員会の招集(案)を決議
8	10月9日(木) (書面決議)	1. 第5回評議員会の招集(案)を決議
9	11月7日(金)	1. 令和7年度上半期事業報告(案)を承認 2. 令和7年度上半期資金収支決算報告(案)を承認 3. 紅梅荘に係る短期運転資金借り入れ計画(案)を決議 4. マネジメントリスクプロテクション契約(案)を決議 5. 嘱託職員就業規則の一部変更(案)を決議 6. 臨時職員就業規則の一部変更(案)を決議 7. 第5回、第6回評議員会の招集(案)を決議

10	12月18日(木)	1. ふれあいの里指定管理に係る応募申請の結果を報告 2. 本部サービス区分の積立金の取崩し(案)を決議 3. 会計各サービス区分の収支補正予算(案)を決議
11	2月10日(火)	1. 正職員就業規則の一部変更(案)を決議 2. 職員給与規程の一部変更(案)を決議 3. 役職員旅費規程の一部変更(案)を決議 4. 嘱託職員就業規則の一部変更(案)を決議 5. 臨時職員就業規則の一部変更(案)を決議 6. 第7回評議員会の招集(案)を決議
12	3月11日(水)	1. 令和7年度介護分野の職員の賃上げ·職場環境改善支援事業及び障害福祉従事者処遇改善緊急支援事業に係る一時金の支給(案)を決議 2. 最上ふれあい学園サービス区分の積立資産に「後進の育成積立資産」の新規設定(案)を決議 3. 経理規程の一部変更(案)を決議 4. 最上ふれあい学園運営規程変更(案)を決議 5. 最上ふれあい学園短期入所事業所運営規程変更(案)を決議 6. 会計各サービス区分の第2次収支補正予算(案)を決議 7. 第7回、第8回評議員会の招集(案)を決議
13	3月27日(金)	1. 令和8年度本部、各施設·事業所の事業計画(案)を決議 2. 令和8年度本部、各施設·事業所の資金収支予算(案)を決議 3. 補充評議員選任候補者(案)の推薦を決議 4. 次期第三者委員の選任(案) を決議

(2) 評議員会の開催　8回

回	月日(曜日)	主な審議(予定)内容及び審議結果
1	6月20日(金) (定時議員会)	1. 次期評議員選任·解任委員の選任結果を了承 2. 次期評議員の選任結果を了承 3. 令和7年度永年勤続表彰式の挙行を了承 4. 令和6年度本部、各施設·事業所の事業報告を承認 5. 令和6年度本部、各施設·事業所の資金収支決算報告を承認 6. 任期満了による次期理事及び監事の選任(案)を決議
2	7月3日(木)	1. 理事長及び副理事長の選定結果を了承 2. 法人事務局長の理事長任命結果を了承 3. 指名委員の選任結果を了承
3	9月16日(火) (臨時評議員会)	1. 最上ふれあい学園に係る障害者虐待認定の顛末等を了承 2. 令和7年度随時採用に係る正職員採用試験の結果を了承 3. 職員給与規程等の一部変更を了承 4. 最上ふれあい学園への施設寄付金の受入を了承

		5. 基本財産である最上ふれあい学園「なかやまの家」の売却処分(案)を決議
4	10月22日(水)	1. 令和8年度採用に係る職員募集結果及び採用試験の実施結果を了承 2. 「なかやまの家」の敷地及び建物の売買契約の締結を了承 3. 育児・介護休業等に関する規則の一部変更を了承 4. 定款の一部変更(案)を決議
5	11月21日(金)	1. 紅梅荘に係る短期運営資金借入計画を了承 2. マネジメントリスクプロテクション契約を了承 3. 嘱託職員及び臨時職員就業規則の一部変更を了承 4. ふれあいの里指定管理に係る応募申請を了承 5. 令和7年度上半期事業報告を了承 6. 令和7年度上半期資金収支決算報告を了承
6	12月18日(木)	1. 令和8年度定期採用に係る正職員採用試験の結果と採用内定通知を了承 2. ふれあいの里指定管理に係る応募申請の結果を了承 3. 本部サービスの積立金の取崩しを了承 4. 会計各サービス区分の収支補正予算(案)を承7
7	3月18日(水)	1. 令和6年度最上ふれあい学園車両購入整備事業完了を了承 2. 令和7年度介護分野の職員の賃上げ・職場環境改善支援事業及び障害福祉従事者処遇改善緊急支援事業に係る一時金の支給を了承 3. 最上ふれあい学園サービス区分の積立資産に「後進の育成積立資産」の新規設定を了承 4. 経理規程の一部変更を了承 5. 正職員就業規則等の一部変更を了承 6. 最上ふれあい学園運営規程及び短期入所事業所運営規程の一部変更を了承 7. 評議員1名の辞任と補充計画を了承 8. 次期第三者委員選任候補者推薦(案)を承認 9. 会計各サービス区分の第2次収支補正予算(案)を承認
8	3月30日(月)	1. 補充評議員選任候補者の推薦結果を了承 2. 次期第三者委員の選任結果を了承 3. 令和7年度本部、各施設・事業所の事業計画(案)を承認 4. 令和7年度本部、各施設・事業所の資金収支予算(案)を承認

(3)　評議員選任･解任委員会の開催

回	月日(曜日)	内容
1	6月10日(火)	1. 任期満了による次期評議員･選任解任委員について了承 2. 次期評議員の選任候補者(案)を決議 3. 次期評議員の候補者推薦書(案)を決議

(4)　法人本部の会議関係

① 経営戦略会議　　(毎週火曜日)

回	月日(曜日)	内容
		【法人の経営、施設運営に関する検討事項の検討】

②　事業執行部会議　　6回(毎月22日以降の月内、火曜日)

回	月日(曜日)	内容
		【各施設の試算表分析、人材確保、理事会議案検討】
1	4月22日(火)	令和6年度事業報告･決算スケジュール、令和7年度理事会･評議員会上程議案、第1回･第2回理事会議案検討、評議員選任･解任委員会の準備
2	5月27日(火)	人材確保･働き方改革、第2回理事会議案検討、評議員選任･解任委員会議案検討、定時評議員会議案検討、中堅幹部職員研修会
3	6月24日(火)	階層別研修会の計画、第2回評議員会議案検討、法人管理職会議内容確認
4	7月29日(火)	職員採用活動、階層別研修会の結果、法人管理職会議の結果、第4回･第5回理事会議案検討、3か年財務分析計算シート
5	8月26日(火)	職員給与の見直し、応援手当支給要領の施行、育児･介護休業等に関する規則変更の検討、相談窓口設置と意向調査、理事会議案検討
6	9月24日(水)	役職員先進地視察研修計画、職員合同研修会の計画、令和8年度各手当等の見直し、第4回評議員会議案検討、第3回監事会議案
7	10月27日(火)	最低賃金改定の対応、本部業務DX化計画の推進、今後の理事会･評議員会の議案、第2回役職員合同情報交換会
8	11月19日(水)	役職員研修会、本部業務DX化計画の推進、さくら指定管理の応募申請、今後の理事会･評議員会の議案、第2回役職員合同情報交換会、令和8年度に向けた規程等の見直し
9	12月23日(火)	令和8年度事業基本方針･スローガン･策定スローガン、第11回理事会の議案、規程等の見直し案
10	1月27日(火)	令和8年度事業計画立案会議、今後の理事会･評議員会の議案
11	2月24日(火)	令和8年度事業計画第2回立案会議、新規採用職員研修計画、障害者支援新規事業構想、今後の理事会･評議員会の議案

12	3月24日(火)	令和8年度事業計画の最終確認、8 年度本部事務局職務分掌、今後の理事会·評議員会の議案、令和 8 年度第 1 回評議員選任·解任委員会の議案

③ 施設代表者会議(人事企画委員会) 1回(隔月第2水曜日)

回	月日(曜日)	内容
		【各施設の課題検討と調整、人事企画、人事考課】
1	7月 1日(火)	令和8年度に向けた職員補充について
2	7月 22日(火)	配置検討
3	10月21日(火)	昇格候補者検討
4	11月21日(火))	人事考課の日程と配置
5	12月9日(火)	配置検討と昇格候補者検討
6	1月20日(火)	配置検討と昇格候補者検討
7	2月18日(水)	配置最終案

④ 管理職会議(試行) 随時

回	月日(曜日)	内容
1	7月24日(木)	管理職会議の目的等
2	11月20日(木)	理事会等の決定事項、各施設の連絡事項
3	1月16日(金)	職員交換研修、各施設の連絡事項

⑤ 職務担当者会議 随時

回	月日(曜日)	内容
1	9月30日(火)	事務処理に係る事務要領の整備について
2	1月13日(火)	処遇改善補助金申請について
3	1月15日(木)	〃
4	2月26日(木)	処遇改善交付金、令和8年度給与関係

⑥ 事務局会議 隔週木曜日

回	月日(曜日)	内容
		【年間·月次スケジュールと進捗確認、事務局の課題検討】

⑦ ビジョン2040プロジェクトチーム 随時

回	月日(曜日)	内容
		【法人の将来を展望し、持続できる法人の在り方を検討】
1	5月14日(木)	年間計画策定
2	6月27日(金)	役職員合同研修会の内容
2	11月28日(金)	プロジェクトチーム他 Web研修視聴

(5)　監査の実施

①　監事会　　3回

回	月日(曜日)	内容
1	5月8日(木)	令和7年度監査の年間計画 令和6年度決算監査の日程、監査項目及び準備資料、他
2	7月3日(木)	代表監事の互選、他
3	10月9日(木)	中間監査の日程、監査項目及び準備資料、他

②　監事監査　　2回

回	月日(曜日)	内容
1	5月22日(木)	本部、紅梅荘　　令和6年度事業及び計算関係書類の監査
	5月23日(金)	最上ふれあい学園、さくら、ふれあいの里　　〃
2	10月24日(金)	令和7年度上半期事業及び資金収支状況

(6)　研修関係

回	月日(曜日)	内容
1	4月1日(火)	新採職員全体研修会(辞令交付式後)
2	7月24日(木)	中堅幹部職員研修会:係長クラス(リーダー育成)
3	10月28~29日	役職員先進地視察研修(福島県障害者施設)
4	12月5日(金)	役職員合同研修会「2040問題に対応できる社会福祉法人となるには」

(7)　委員会等関係

①　試験委員会　　随時

回	月日(曜日)	内容
1	6月18日(水)	第1回職員採用試験(一般1名)
2	9月21日(日)	第2回職員採用試験(学校長推薦1名、一般8名)
3	9月24日(金)	第3回職員採用試験(一般1名)
4	11月21日(金)	第4回職員採用試験(一般2名)

②　第三者委員会　　随時

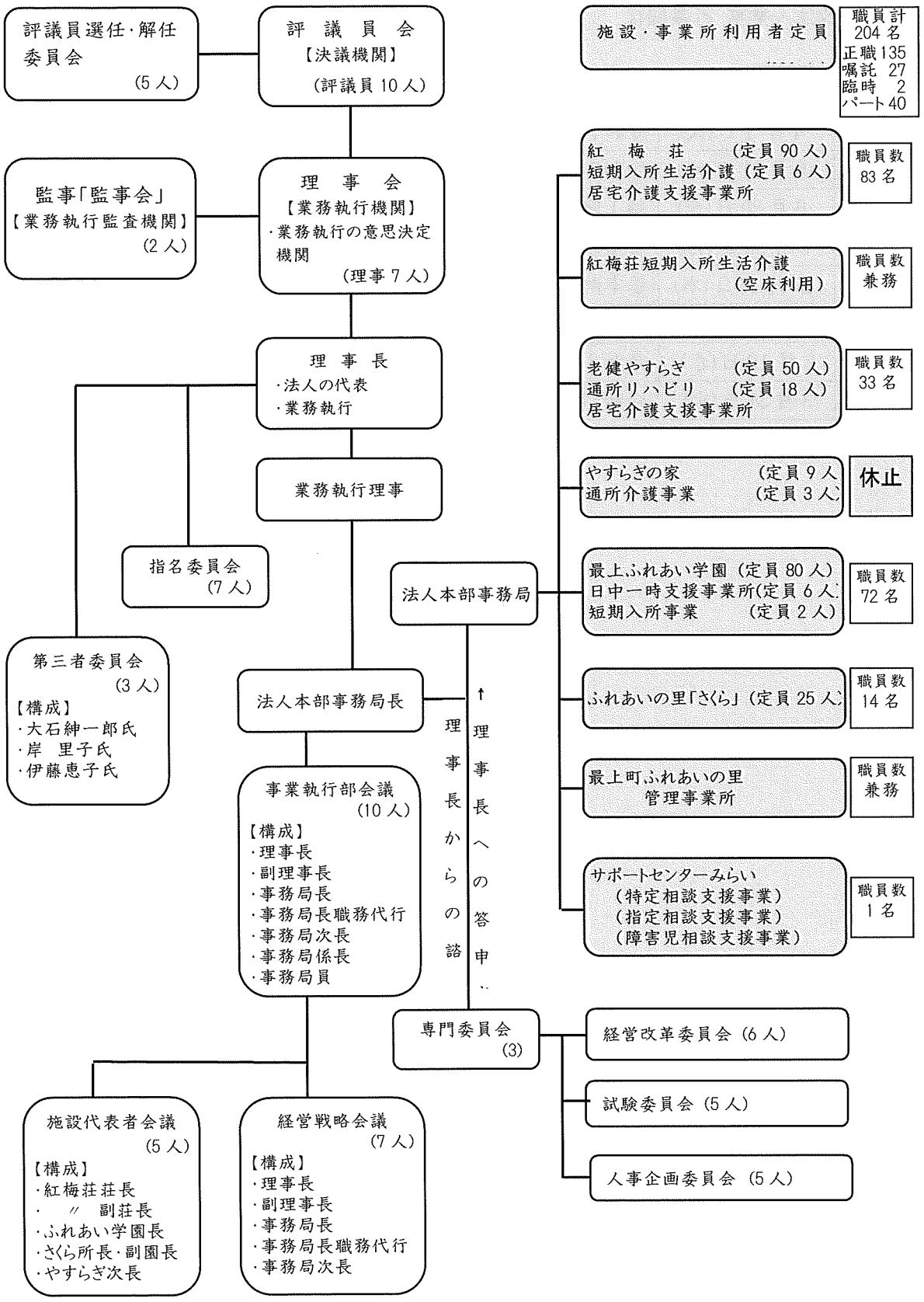
回	月日(曜日)	内容
1	4月18日(金)	令和6年度下半期の施設事故･苦情、令和7年度活動予定
2	6月30日(月)	最上ふれあい学園生活相談･苦情解決、最上ふれあい学園虐待事案
3	9月25日(木)	最上ふれあい学園虐待認定の顛末
4	12月10日(水)	令和7年度上半期の施設事故･苦情、下半期活動予定

③　指名委員会　　随時

回	月日(曜日)	内容

(8)　その他法人業務･行事関係

回	月日(曜日)	内容
1	4月 1日(火)	令和7年度辞令交付式
2	6月 11日(水)	令和7年度永年勤続者表彰式　5名
3	6月 20日(金)	第1回役職員情報交換会
4	6月 30日(月)	資産の総額変更登記
5	10月 16日(木)	基本財産(中山の家)処分の変更登記完了
6	12月 18日(木)	第2回役職員情報交換会
7	3月 18日(水)	令和8年度採用内定職員説明会
8	3月 31日(火)	令和7年度定年退職者を送る会　役職定年者辞令交付式

4　経営組織及び会議系統図

（令和８年３月31日現在）